

第6号

# つくる会ニュース



「つくる会」イメージキャラクター

## 町制施行55周年記念事業

# 「みんなでつくるまちづくり」フォーラムが開催されました！



自治基本条例は、まちづくりの基本原則や市民参加、住民協働の仕組みなどを定め、自治体運営のルールとなるものです。

そのルール(条例)の素案づくりを、公募の町民のかたを中心とする「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」が行っています。

今回の「つくる会ニュース」では、「みんなでつくるまちづくり」フォーラム～誇れる町、住み続けたい町に向けて～と、第6回「全体会議」及び「ワークショップ」の活動内容をご報告しま～す！

## 「みんなでつくるまちづくり」フォーラム

去る11月29日(日)白岡町保健福祉総合センター(はびすしらおか)において、「みんなでつくるまちづくり」フォーラム(「(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会」スタートフォーラム)が開催されました。

当日は、約120名の町民の皆さんの参加をいただき、町内の中学生や高校生による「作文発表」や、宮代町自治基本条例を考える市民会議の阿部重太郎あべじゅうたろう委員長による「まちづくりへの取組の事例報告」、そして、町長と(仮称)白岡町自治基本条例(白岡町まちづくり条例)をつくる会の内山欣春うちやまよしはる会長などを交えた「テーブルトーク」の3部構成で行われました。

**第1部「作文発表」** 町内の4つの中学校と白岡高校の生徒5人による「こんな白岡町にしたい」をテーマとした「作文発表」が行われました。



### 篠津中学校3年 石川睦いしかわむつみさん

白岡町を多くの人が集い、交流できるようなあたたかい町にするのは私たちです。そのために、私は地域の人たちとの交流や、ボランティア活動に参加し、さらに1人でも多くの人に参加できるよう呼びかけをしたいと思います。

### 菫莪中学校3年 辻貴文つじたかふみさん

私は、これからの白岡町は「お年寄りを大切にし、共に支えあえる町」になってほしいと思います。そのためには、お年寄りと若い人がさらに交流すれば、お互いに協力し支え合うことができ、住み良い「まちづくり」につながると思います。



### 南中学校3年 山田恵里奈やまだえりなさん

私の考える白岡らしさとは、緑がたくさんあって、みんなが明るく平和に暮らせるということです。そのために、町の自然やお祭、伝統、文化をもっとPRし、多くの人交流できれば、白岡町に愛着が湧き「まちづくり」につながります。





白岡中学校3年 いとうしゅんた 伊藤駿汰 さん

白岡町はあたたかくて、親しみやすく、そして伝統のあるまちだと思います。それは、ボランティア活動を通して感じました。さらに多くの方がボランティア活動などに参加すれば、よりあたたかく、親しみやすい白岡町になると思います。

白岡高校2年 ながいゆか 永井結香 さん

私は、部活動を通して「白岡まつり」などの行事のお手伝いをしています。そこで多くの皆さんに感謝の言葉をいただき、人を感じる気持ちとあたたかさを感じました。これからも多く行事を継続し、伝統を守ることで、さらに愛着の持てる「まちづくり」ができると思います。



小島町長の感想

皆さんから、白岡町に対するさまざまな熱い“想い”を聞かせていただき、人と人とのつながり・ふれあいがあるまちが「誇れる町、住み続けたい町」ではないかと感じました。これからの「まちづくり」には、皆さんの若い力も必要です。「まちづくり」にもっと関心をもっていただき友達と話し合ってください。

**第2部「事例報告」** 「宮代町民のまちづくりへの取組」～宮代町まちづくり基本条例の策定プロセス～をテーマに、宮代町の阿部委員長から、「宮代町まちづくり条例」の素案づくりに当たったの活動状況や、活動における課題等、そして条例制定後の取組状況について次のとおり報告ありました。



宮代町では、市民と議会、そして行政の各チームが共通の課題に基づき検討をはじめ、三者の合同会議を経て町長に検討報告書を提出した。また、検討期間や参加する市民間の経験、情報の差などが課題であった。なお、条例制定後は、急激な変化は見られていないが、条例を踏まえた第4次総合計画の策定など徐々にではあるが取組が進められている。

**第3部「テーブルトーク」** 「みんなでつくるまちづくり」～誇れる町、住み続けたい町に向けて！～をテーマに、小島町長、阿部委員長、そして「つくる会」の内山会長による「テーブルトーク（膝を合わせて語り合う）」が、明治大学政治経済学部牛山久仁彦<sup>うしやまくにひこ</sup>教授の司会進行で行われました。



内山会長からは、「自治基本条例づくりには、多くの町民の皆さんと協働でつくること  
が何よりも大切です。これからの活動に、ぜひ多くのお力添えをお願いします。」との、  
また、小島町長からは、「町民の皆様といっしょに「まちづくり」を行っていくために「つ  
くる会」を設置し、自治基本条例の素案づくりをお願いしました。策定過程をオープン  
にし、多くの町民に関わっていただくことが重要です。行政のトップとしてリーダーシ  
ップを発揮して参りますので、町民の皆様には、積極的なご意見、ご提案をお願いしま  
す。」などの発言がありました。

この「フォーラム」の詳細につきましては、まとまり  
次策 町ホームページに掲載し、さらに冊子にして主  
な公共施設に設置して公表いたします。



参加者からも多くのご意見をいただきました。

## 第6回「全体会議」及び「ワークショップ」が行われました！

11月21日（土）に庁舎会議室において、「つくる会」の第6回全体会議とワークショップが行われました。



### 第6回全体会議

全体会議では、これから行うワークショップの進め方を全委員で確認し、作業内容について全委員の共通認識を図りました。

### 第6回ワークショップ

全体会議に引き続き、3グループに分かれてワークショップが行われました。

### 今回のワークショップの作業内容

自治基本条例を、町の幅広い分野で活用できるものにするためには、町の現状を踏まえた「白岡らしさ」を出した条例にする必要があります。

そこで、これまで仮に仕分けをした“「条例」の素案に盛り込む項目案”を踏まえ、項目の確認・加除を行いながら、条例の素案の柱となる「大項目」（大枠）を検討する作業を、3グループに分かれて、次のとおりワークショップを行いました。

「大項目」（大枠）を検討します。

条例の素案に盛り込む「大項目」の大枠を検討するため、各グループで議論を行う。

各グループで検討した「大項目」（大枠）を発表し、全体で調整します。

各グループで検討した「大項目」（大枠）をグループごとに発表し、全体で調整する。



### 今回のワークショップの結果

今回は、条例の素案の大きな柱となる「大項目」(大枠)を、次のとおり全体でとりまとめました。

今後も、現状と「まちづくり」の将来

展望を踏まえた「白岡らしさ」を持った条例の素案づくりを行うため、継続して議論を深めていくことになりました。

大項目(大枠・順不同) 仮に柱立てしたものです。今後の議論・検討により変更があります。

(前文)総論 (住民)市民 住民協働 行政 議会

地域自治・コミュニティ 情報公開・共有

地域経営・住民投票・住民参加 町づくり 改廃

この会議の詳細は、まとまり次第、公表していきます(広報紙では紙面の制約がありますので、町のホームページに掲載するとともに、冊子にして役場庁舎や主な公共施設に設置します。)

また、この「つくる会」や自治基本条例についてご意見等がございましたら、担当まで電話やファックス、メール等でお寄せください。

問合せ 町民種別係 住民協働担当

電話 92-1111(内線353) FAX 92-9096

E-mail tyoukatsu@town.shiraoka.lg.jp

なお、「つくる会」の活動状況は、まとまり次第、この「つくる会ニュース」でご報告いたします。